

2-3. 高大連携事業

学園連携推進室は2007年4月に「学園は一つ」の方針の下に、各設置校の連携協力を円滑に進めるためにできた部署である。その中でも特に、京都文教高校から京都文教大学・京都文教短期大学への進学をスムーズに進めるために、ALP（アドバンスト・レクチャープログラム）制度の運営と、関連行事の企画運営を主たる業務としている。

ALP制度は、京都文教高校の生徒が京都文教大学・短期大学に入学するための入学システムである。大学・短大が実施する特別講義を受講し、その成績が評価されると、京都文教大学・短大への特別推薦者として学校長から推薦される。講義は大学・短大の現職教員が高校に出向して行われる。高校2年生の10月から1月までと、高校3年生の4月から7月までを講義期間としている。

2011年度は京都文教高校から京都文教大学に30名、京都文教短期大学に38名が進学し、そのうちALPを通して進学した生徒は、大学22名、短大35名であった。

以下は2011年度に行われたALP制度に関連する高大連携事業である。

【本年度に実施したALP関連プログラム】

<高校1年生対象プログラム>

1. 「宇治キャンパス体験ツアー」の実施（8月）

京都文教大学・短期大学のある宇治キャンパスを訪問し、大学進学への動機付けと、文教大学・短期大学を身近に感じてもらうために実施した。

<高校2年生対象プログラム>

1. オープンキャンパス体験プログラムの実施（8月）

内部進学クラスと体育クラスのALP受講者対象が、大学・短大のオープンキャンパスに参加し、大学に進学するか短大に進学するかを決めるための機会とした。

2. 高校2年生ALP開講式の実施（10月）

ALPの開講日に、生徒への激励と受講上の諸注意を伝えるために開催した。

3. 高校2年生ALP終了式の実施（3月）

成績表を渡し、高2ALPの評価と今後に必要なアドバイスをやる機会とした。

<高校3年生対象プログラム>

1. 「高校3年生ALP終了式」開催（7月）

成績表を渡し、大学進学を考えて今後の高校生活の過ごし方などをアドバイスした。

2. 修了認定書を授与（8月）

高2・高3のALPの成績を評価し、合格者に修了認定書を授与する。それに基づいて、生徒は高校から京都文教大学・短期大学の希望する学科に特別推薦される。

3. 入学前教育の実施

本年度から大学主催で文教大学進学予定者を対象に、2011年11月～3月まで入学前教育を7回実施した。大学入学後に特に必要とされる、文章を読む力、自分の意見をレポートにまとめる等書く力をレベルアップさせる機会とした。

◎2011年度 ALP（アドバンスト・レクチャープログラム）講義内容一覧

高校3年生ALP（4月19日～7月12日）

回	日	講座名	講座内容	担当講師
1回	4/19	大学での学びを考える —総合社会学部への招待—	「大学で学ぶ」とは？総合社会学部（5コース）の紹介を兼ねながら、大学の学びについて考えてもらいます。「勉強」「学習」「学問」、これらの言葉は区別されないで使われるきらひがありますが、大きな違いがあります。大学の学びの楽しさを具体的な例で学びます。	大学教授 小林康正
		インテリアデザインにおけるプレゼンテーションのテクニック	インテリアデザインのプレゼンテーションでは、顧客の心を読み、イメージを形にしていける。簡単なスケッチ練習の後、キッチン空間をマーカーとパステルを用い、話だけでは伝わりにくいデザインやレイアウトなどを素早くわかりやすく美しく伝える技法を学ぶ。	短大准教授 山田智子
		宮沢賢治の生命観 —生命を慈しむ心—	宮沢賢治の生涯と作品を通して、彼が生涯にわたって追求した生命を慈しむ心（思いやる心）について考える。	短大講師 仲宗根充修
		人にかかわるといふ	現在の日本の社会の中で、“つながり”を大切にしながら生きてい	大学准教授

2回	5/10	こと	くことが難しくなっています。人とのつながり、人へのかかわりについて、心理臨床という営みと重ねながら考えてみます。	香川 克
		メタボについて	肥満・メタボリックシンドロームと食事・栄養の関係については、食事の量と内容が深く関わっていると考えられてきましたが、食事回数や時間帯のリズムにも関与することが明らかになってきています。肥満について学び、食事リズム、生活リズムとの関連について考えてきたいと思います。	短大准教授 安藤ひとみ
		表現技法を楽しむ	表現技法のひとつ「スクラッチ」の実習をします。「スクラッチ」はクレパスの塗り込みと釘や竹串等で描画する表現で、子どもにとっても取り組みやすく感動を得られる技法です。造形における、保育の表現技術に繋げていきます。	短大准教授 岡本美晴
3回	5/17	現代グローバル社会と社会起業家たち	今日のグローバル化された社会は、光の部分と影の部分の両方を抱えています。本講義では、世界が抱える貧困、教育、医療、ジェンダー、環境、水・食料などの問題について解説し、グローバル化された市場経済に参加する企業や個人の役割について考えます。また実際に問題解決に挑む企業や人たちを紹介し、社会起業家的精神とは何かについての理解を深めます。	大学教授 島本晴一郎
		将来の夢、理想の自分を考える	2年後の自分を想像してみましょう。夢を叶えるために目的をしっかりと持ち、どのような学生生活を送れば良いか、一緒に考えてみましょう。	短大就職部 課長 出倉由美子
4回	5/31	カフェ学入門	「カフェ」や「喫茶店」が、都市空間において、また市民生活の中で果たしている役割を、ヨーロッパでの歴史から日本における最近の動向まで辿りながら考える。	大学准教授 手嶋英貴
		日常生活にちなんだ動作を科学的な視点で捉え、健康の保持・増進に生かそう	日常生活の中で行っている椅子から立ち上がる、歩行、小走り等の動作は大した意識をすることなく行われています。しかし、これらの動作を科学的視点から見る事で、ただ立つ、ただ歩く、ただ走るのではなく、日常動作を健康的に生活する動作に変えてみましょう。	短大助教 久米 雅
		世界共通語としての英語と異文化理解	世界の共通語である英語は、もはや英語を第1言語とする国だけの言語ではなく、EU、アフリカ、アジア諸国の共通語です。英語を通して衣食住を中心に異文化を探ります。	短大准教授 小河尚子
5回	6/7	宮沢賢治の『よだかの星』を臨床心理学的に読み解く	宮沢賢治は童話『よだかの星』の中で鳥の世界における生きることの厳しさや不条理、切なさを描いている。それは鳥の世界に映し出された人間の世界の鏡でもあると考えられる。『よだかの星』を通して童話を臨床心理学的に読み解く試みを行う。	大学准教授 松田真理子
		高校生の食生活と健康	現代の高校生・大学生の食生活や健康の実態について講義し、食生活が健康と関連している現状を理解し、なぜこの時期に食生活について振り返ることが必要かを考える。そして、自分の食生活の現状を振り返り、自分の食生活に問題点はないかを考え、どの様にすればよいかを考える機会とする。	短大教授 池田順子
		「遊び」の中で育つもの	幼稚園・保育園では、多くの友達や先生とふれ合う中で、他の人と共に生活する楽しさや大切さを知り、人とかかわる力を育てます。いろいろな遊びを通して、仲間作りや友達とのふれあい遊びを楽しみ、幼児期の人とのかかわりについて考える。	短大講師 林 妙子
6回	6/14	観光・まちづくりー学生の活動が地域をつなぐ	「宇治茶」をテーマにイベントを企画実施したり、中高生の体験型修学旅行のスタッフを担当した先輩学生たちの話を聞き、大学時代に地域で活動しながら学ぶとはどういうことかのイメージを深める。	大学准教授 森 正美
		フードコーディネーターって何？	フードコーディネーターとは、食に関わるありとあらゆる要素を組み合わせてニーズに合わせた食のシーンを作ることであり、その活動は多岐に渡る。そこで本講義では、「フードコーディネーターとは何か」について、具体的に内容を紹介していく。	短大助教 古川 彩
		美しき三歳	絵本を使用しながら三歳児の心理を、「はず」の世界、「つもり」の世界、「ながら」の世界として概説する。	短大准教授 大久保 智
			1. 東北・関東大震災による経済的な被害の大きさと日本経済と	

7回	6/21	経済復興の進め方、景気を良くする方法について	世界経済に対する影響を知る。 2. その復興の方法と進め方について、受講者それぞれの意見も交えて検討する。 3. 日本の景気を良くする方法についても、意見交換する。	大学教授 三浦 潔
		想像してみよう、未来の自分～私が大切にしたいもの～	今のあなたはどんな人ですか？1年後はどうなっているでしょうか。5年後、10年後は？近い将来から遠い未来までの自分の姿を想像してみましよう。 また、これからの人生で自分は何を大切にしていきたいのかを考えてみましょう。	短大助教 桑原千幸
8回	6/28	「誰にでもできる脱ストレス法の実践」	ストレスに関する基本的な知識に関わる講義を行うと同時に、簡単な質問紙をとおして、ストレスと自分の心身の状態への影響に関して具体的に考える機会をもつ。また、誰にでもできる簡単な脱ストレス法の演習を行い、脱ストレス法を実際に体験する機会とする。	大学教授 吉村夕里
		「給食」と「栄養士」の役割は？	いま、料理本『体脂肪計タニタの社員食堂－500kcalのまんぷく定食－』がベストセラーになっています。多数出版されている料理の本の中で、一企業の社員食堂の栄養士が書いたものが注目されているのはなぜでしょう。給食の目的と栄養士の役割・力について考えてみます。	短大准教授 浅野美登里
		保育者への途	保育者になるために必要な理念（考え方）、実践、政策・制度の三位一体について学ぶ。	短大教授 安藤和彦
9回	7/12	フィールドワークをとおした国際・日本文化	エジプトおよびシンガポール実習から国際文化を考え、縁日や街路市の調査実習から日本文化を考える。国際とは、日本とはなにかを文化の視点から考えてみる。	大学教授 奥野克己
		他人を納得させる文章を書く練習	「他人を納得させる文章」を書く練習を行います。具体的には、主題に対する自分の意見（主張）を、自分以外の人も納得できる理由（根拠）によって補強する文章を書くという練習です。	短大添削担当 講師渡邊裕史

高校2年生ALP（10月4日～1月17日）

回	日	講座名	講座内容	担当講師
1回	10/4	<生徒>から<学生>へ：高校と大学は何が違うのか	<生徒>と<学生>は何が違うのでしょうか。具体的な例に基づきながら、高校での学びと大での学びの違いを共有し、<考える>ことの苦しみと楽しさについて考えてみたいと思います。	大学教授 平岡 聡
		京都文教短期大学への学び	アドバンスト・レクチャー・プログラム（ALP）の目的を理解して頂き、京都文教短期大学の各学科の教育内容と目的が、皆さんの将来の夢を実現できるかどうかをこのプログラムを通じて確かめてください。このオリエンテーションでは、各学科の魅力と求める学生像を紹介します。	短大教授 森井秀樹
2回	10/11	日本語の中の英語	日本語の中には英語であるかのような顔をして、実は英語ではないような言葉が多数隠されています。そのような言葉を取り上げて、英語と日本語の違いについて学びます。	大学准教授 山本明歩
		おいしさはどうやってつくられるのか？	食べるという行為は、食欲を満たし、健康維持に必要な栄養素を摂取するためだけに行われるのではなく、生活の中の楽しみの一つでもあります。そのためには、食事はおいしくなければ役割を果たせません。人が感じるおいしさの要因を考えたいと思います。	短大講師 福田小百合
3回	10/25	人権のふしぎ	人権について、いろいろな角度から、グループで考察します。「人権は大切」と分かっていることと「人権を具体的に認識」できていることとの違いを気づくことを通して、大学での学びのおもしろさを体験していただく。	大学教授 竹口 等
		保育者への途	保育者になるために必要な理念（考え方）、実践、政策・制度の三位一体について学ぶ。	短大教授 安藤和彦
		大学での学びを知ろう	大学で学ぶことは、高校までの学びと何が違うのでしょうか。学部学科別の「専攻」「専門」という大学のシステムを説明しながら、進路の決める基準などを一緒に考えていきたいと思います。	大学教授 小林康正

4回	11/1	フードコーディネーターって何？	フードコーディネーターとは、食に関わるありとあらゆる要素を組み合わせてニーズに合わせた食のシーンを作ることであり、その活動は多岐に渡る。そこで本講義では、「フードコーディネーターとは何か」について、具体的に内容を紹介していく。	短大助教 古川 彩
5回	11/8	東日本大震災被災地復興のアプローチについて	今回の東日本大震災は大地震、大津波、原発事故の3重苦であり、その被害は甚大です。私たちはどのような観点から被災地の復興に取り組んでいけばよいのか、行政、企業、市民のそれぞれの立場からとれる支援のあり方について考えます。	大学教授 島本晴一郎
		他人に納得してもらえ文章を書こう(1)	他人に納得してもらえる文章とは、主題に対する自分の意見(主張)を、他人が納得できる理由(根拠)で補強した文章のことで、1回目はこの関係について定義付けを行い、納得してもらおうことをねらいとします。	短大添削担当 講師 渡邊裕史
6回	11/15	ジブリアニメにみる祖母と孫関係	現代は母と娘の関係に変化が生じている。母親の生き方の変化により、子どもの心を理解する仕方も変化し、子どもは何かの問題でつまずいた時は、母の助けを得るというよりは老婆的な存在に助けを得ないといけないことが多くなっている。このあたりのことを、ビデオ「ハウルの動く城」と「千の千尋の神隠し」を使用しつつ説明したい。	大学教授 今井皖式
		短大生によるプレゼンテーション	京都文教高校出身者による京都文教短期大学の内容紹介 ○学科について ○総合教養科目について ○質問コーナー	短大生 有志
7回	11/22	フィールドワークをとおした国際・日本文化	エジプト、トルコおよびシンガポールのフィールドワーク実習から国際文化を考え、京都付近の縁日や街路市の調査から日本文化を考える。国際と日本を文化の視点から考えてみる	大学教授 奥野克己
		食と健康—手指の汚染と洗浄効果	手指の汚染により、手を介して口へと伝わる食中毒や感染症について知り、その予防の第一歩である手洗いの大切さを学びます。また、体験を通して、自分の手洗いの仕方をチェックして、正しい手洗い法を身につけます。	短大講師 高安淳子
8回	11/29	心理テスト体験	臨床心理学科では心理テストを学ぶ講義があります。今回の講義では、質問が書かれた用紙に回答していく心理テストを体験してもらい、テストの結果をどのように読み取っていくのか、自分の生活にどのように活かしていったらよいのかを、学んでいきます。	大学講師 島田 香
		保育内容「人間関係」を学ぶ準備	保育内容「人間関係」は、子どもたちの人間関係の問題や人間関係を伸ばす保育について学ぶだけではなく、もう一つ大事なことは、保育者側の人間関係の問題について考えられることです。今回は、その準備としてのグループワークを行いたいと思います。	短大講師 河合由里
9回	1/10	法学っておもしろい	現代の社会は複雑になっています。色々な事件が起こり、新聞紙面をにぎわせています。そのような時にどうすればいいのかを考えるのが法学です。現代の最も新しくそして重要なテーマ(?)についてお話しする予定です。	大学教授 樺 博行
		『となりのトトロ』のサツキちゃんの家から日本の住宅を考えよう!	『となりのトトロ』のサツキちゃんの家を題材に、間取り・建築工法・材料などについて、日本の伝統的な住まいの特徴を分析します。近代主義による生活と住環境の変化を認識し、現代の住まいを見直します。	短大准教授 山田智子
10回	1/17	「ものの見え方」を測る	目の錯覚＝錯視についての簡単な実験を体験してみます。そして、条件が変わることによって「錯視の量」が変化することを、統計的な手法も若干用いながら、確認してみます。「心の働き」は、意外に幅の広いことであることを知ると同時に、「測る」ことの実際に会って見ましょう。	大学准教授 香川 克
		他人に納得してもらえ文章を書こう(2)	他人に納得してもらえる文章には、主題に対する自分の意見(主張)と他人が納得できる理由(根拠)がありますが、他人がその理由を聞いて納得するには、ある秘密があります。2回目はその秘密を考えながら、他人を納得させる文章を書く練習をします。	短大添削担当 講師 渡邊裕史